

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康福祉機構 大阪労災病院
研究課題名*	人工知能を用いた早期胃癌超音波内視鏡（EUS）診断システムの有用性の検証-多施設共同研究
所属科*	消化器内科
研究責任者*	山田拓哉
研究実施期間	終了 西暦 2025年 3月 31日（予定）
対象疾患（予定症例数）	早期胃癌（当院で5症例）
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2017年 5月 1日 ~ 至 西暦 2021年 1月 31日
研究概要*	<p>研究目的：胃癌の診療において、治療前の内視鏡検査は治療方針を決定する上で非常に重要な役割を果たしていますが、その中でも超音波内視鏡（EUS）検査は通常は見ることの出来ない胃壁の断面像を得ることができるため、深達度の評価をする上でなくてはならない検査となっています。しかしその読影は難しく、高度な知識と経験が必要です。そこで私たちは、人工知能を用いた診断システムを開発しており、本研究ではその有用性について検証することを目的としています。</p> <p>本研究では大阪大学および大阪大学関連施設で実施した多施設前向き共同研究「早期胃癌の深達度診断における超音波内視鏡（EUS）の有用性（多施設共同前向き研究）」に参加した症例の検査時の内視鏡画像を収集し、診断システムの精度を検証します。研究期間は2025年3月31日までの予定です。</p> <p>対象：大阪大学および大阪大学関連施設で実施した多施設前向き共同研究「早期胃癌の深達度診断における超音波内視鏡（EUS）の有用性（多施設共同前向き研究）」（UMIN000025862）に参加した症例を対象とします。</p>
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	<p>1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名および患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。</p> <p>2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。</p> <p>3) 患者さんの個人情報と、匿名化した診療情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了ま</p>

別紙第2号様式

	<p>で厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。 また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。</p> <p>4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。</p>
研究の問い合わせ先*	大阪労災病院消化器内科 山田拓哉

* 記入必須項目